
プロジェクト **ASAF 対応**

項目 **アジェンダ協議 2015**

本資料の目的

1. 本資料は、2014年12月に開催予定のASAF会議向けにIASBスタッフにより作成された「アジェンダ協議 2015」に関するアジェンダ・ペーパーについて、概要をまとめたものであり、ASAF会議における発言案について、ご意見を頂くことを予定している。

背景

2. IASBは3年毎に「意見募集」という形でIASBの作業計画について公開協議を実施することがデュー・プロセス・ハンドブックにより求められている。
3. 直近のアジェンダ協議は2012年に完了したため、IASBは次のアジェンダ協議を2015年中に実施する予定であり、「意見募集」は2015年末にかけて公表されると予想される。
4. アジェンダ協議の主な目的は作業計画の戦略的方向性とバランスについて公式に一般からのインプットを得るほか、優先的に取り組むべき財務報告の問題点に関する意見や、IASBの既存の作業計画から削除すべきものがあるかどうかの提案を求めるものである。

アジェンダ協議 2015

5. IASBの作業計画は大きくは財務報告の開発と既存のIFRSの維持管理の2つの区分に識別され、さらにそれぞれについて次の主な領域が含まれている。

財務報告の開発

- IFRS の首尾一貫性を強化すること（これは概念フレームワークの見直しの完了、及び表示と開示のフレームワークの開発によって行われる。）
- IASBの財務報告に関する将来像を形成するために調査研究の投資を行うこと
- 基準レベルのプロジェクトを行うことによって、IFRSの不足部分を補充すること

既存のIFRSの維持管理

- 新規のIFRS及び主要な修正の運用上の論点について、適用後レビューの実施を通じてより良い理解を得ること
- IFRSの適用について首尾一貫性と品質の改善を図ること（限定的な基準の改善を行うことによって、適用上のニーズに対応する。）

ASAF メンバーに対する質問

6. 上記の背景、作業計画の区分（財務報告の開発及び既存のIFRSの維持管理）、各区分の主な領域を踏まえ、次の事項についてどう考えるか。
- (1) アジェンダ協議に対してどのようなことを期待するか。
 - (2) アジェンダ協議が対処すべき重要な論点は何か。
 - (3) 現在行われている研究プロジェクトにおいて、アジェンダ協議にインプットを提供すべきか。その場合、どのようにすべきか。
 - (4) IASBの作業計画から削除すべきプロジェクトの提案はあるか。

ASAF 会議における発言案

7. ASAF会議において、主に次の発言をすることを予定している。
- (1) アジェンダ協議2011の積み残しが多くある状態であるが、そのことをもって新たなアジェンダの募集を限定的にすべきではないと考える。各国で生じている最新の問題意識を収集し現時点で必要と思われるアジェンダを適切に把握するよう、前回のアジェンダ協議と同じような形式で意見募集すべきである。
 - (2) アジェンダ協議にあたっては、IASB理事及びスタッフのリソースを識別するとともに、重要と識別された項目について十分なリソースがないと判断された場合、適切な人材のリクルート、各国会計基準設定主体への協力要請等について検討を行う必要がある旨も明示することが考えられる。
 - (3) 適用後レビューによるフィードバックにおいて特に検討を行うことが必要とされた項目については、改めて意見収集を行うことなく、適切なアジェンダ設定を行うべきと考えられる。例えば、IFRS第3号の適用後レビューに寄せられたフィードバックを踏まえると、のれんの償却についてはアジェンダに加えた上で十分な審議を行うべきと考えている。

ディスカッション・ポイント

上記の ASAF 会議における発言案について、ご意見を頂きたい。